

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドフレンズ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	朝の落ち着いた時間に複数名の職員で安全に配慮することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人数が少ない時間に、複数の大人の目で子どもたちの見守りができる</li> <li>・子どもの活動や特性に応じて机を移動させるなど、安全に過ごせるように配慮している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの共有などで、事故やケガの未然防止に努める</li> <li>・子どもに関する情報共有をこまめに行う</li> </ul>
2	来所時のルーティーンが定着しており、メリハリをもって過ごすことができるように配慮することができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト、写真やスケジュールボード等を活用し、目で見て分かるようにしている</li> <li>・来所時に職員と一緒にルーティーンを確認し定着を図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧にして壁面に掲示する等、さらに分かりやすい掲示方法を模索する</li> </ul>
3	保護者と連携して支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の様子を丁寧に伝え、成長の変化等共有を行っている</li> <li>・送迎時、連絡帳や公式LINEでの情報共有や相談などを行っている</li> <li>・不安や困りごとを受け止め、必要に応じて助言や情報提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学等も見据えた長期的な視点での情報共有の体制を整える</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動の経験機会に限られる可能性がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時間の入れ違い</li> <li>・利用時間や来所人数のばらつきにより固定した集団の形成が難しいことがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時に意図的に小集団活動を取り入れるなど工夫する</li> </ul>
2	活動が固定化されがちである	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものを楽しみたい子どもの気持ちに寄り添うことが多く、新しい遊びよりも固定された遊びを選択しがちである</li> <li>・年齢に合ったおもちゃ・絵本等のバリエーションが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等で職員間で活動に関するアイデアを出し合う場を設ける。</li> <li>・意図的に集団を形成する等活動方法を工夫し、様々な活動に取り組む事が出来るように支援する</li> </ul>
3	視界に入る情報が多く、活動や食事に集中できないことがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動が混在することによって、集中しづらくなっている</li> <li>・壁面や事務所内など、見えるものが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可動式の仕切りやパーテーションなどを活用し、集中できる環境をつくる</li> </ul>

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	グッドフレンズ					公表日	2026年 3月 1日			
					利用児童数	15		回収数	9	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	0	ワンフロアだが体を使った遊びも工夫して取り入れている	机の配置など環境設定を行い活動しています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8	1	0	0				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	2	0	1	昔より良くなっている	研修などを通して今後も職員の専門性の向上に努めます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1	0	0				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1	0	0				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	1	5				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	2				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7	2	0	0	園送迎で職員と直接会う機会少ないため。	LINEでご利用時の様子などを保護者様にお伝えし共通理解に努めます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	3	1				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0	防災や非常対応の訓練が定期的に行われており、LINEでも事前・事後に「これは訓練です」と連絡があり安心	訓練を今後も定期的に実施し非常時の対応を職員間・保護者様と共有します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	好きな先生ができ、安心して通所している。嫌がることなく落ち着いて過ごせている。	今後もご利用者様が安心して過ごせる様に支援します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	いつも楽しみにしている。子どもの興味やペースを大切に活動している。	今後もイベント内容や活動を工夫し楽しく過ごせるように支援します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0	家庭では見られない子どもの一面や成長についてお話を聞くことができ支援に満足している	今後も支援の工夫・改善を職員間で共通認識とし、保護者様と密に連携していきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	グッドフレンズ				公表日	2026年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	部屋が一つなので状況把握がしやすい 可動式の遮蔽物やテープで区切っている	活動が混在してしまうこともあるため、時間で活動を区切ったり職員が意図的に環境整備を行う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	活動に応じて環境設定を行っている 掃除をこまめにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	可動式のパーテーションを使用する等工夫している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	会議や面談などで、職員同士意見を出し合いよりよい支援について等模索している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	定期的にどのような研修があるかお知らせがあり、受講できる機会が多い	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	職員間で個別支援計画の内容を共有し支援目標を意識している	計画の達成度や進捗情報を把握する機会が少ない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	土日や長期休暇のイベントは職員全体で意見を出し合い計画している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3		共有しているが、必ず行われているわけではない 必要であれば朝礼だけでなく週礼も取り入れる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に一度モニタリングを行い、その際に内容の説明等を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		担当者会議がほぼ開催されないため、今後も働きかける必要がある
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		支援計画の情報共有が出来ていない事がある 受動的になりがちのため、動いていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	9	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	6		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		地域との交流はほぼない	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時、LINE等で子どもの様子について共有をし、共通理解を図っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		家族に対する勉強会や資料配布などは行われていない	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	半年に一度モニタリングを行い、その際に内容の説明等を行っている		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	送迎時、LINE等で子どもの様子や悩み等について保護者の方と共有し、対策などを模索している		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	子どもや保護者の相談などがあれば職員間で共有し、対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	視覚支援なども活用し、コミュニケーションを取るように工夫している	視覚支援などの充実を図っていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		地域住民の方との連携はほぼない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	連絡帳やLINEなどで保護者と連携を取り合い、職員間で共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	定期的に安全会議を実施している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的な研修を行い、対応等について再確認している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			